

RAPID7

情報セキュリティリスクの検証と管理

ネットワークの多様化において企業の社内やクラウドコンピューティングの脆弱性を評価し、発見された問題点について判断しなければなりません。しかし、手動の評価では実際のリスクがどうかすぐには判断できません。

Rapid7セキュリティリスクの検証と管理は、環境の中での脆弱性を利用して悪意ある行為のために書かれたスクリプトやプログラムが存在するかどうかを検証することにより、高リスクを確認/判定し、セキュリティ対策のアクションに優先順位を付与します。

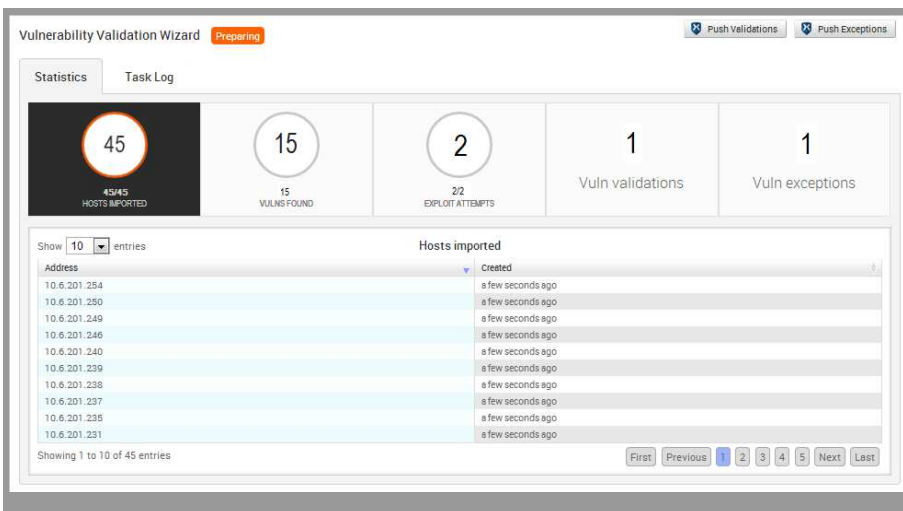
Rapid7の検証と管理ソリューション

優れた脆弱性管理で強力なインテグレーションを持つRapid7は、「確認する、検証する、見える化する」といった「ループの脆弱性管理」をmetasploitで提供します。metasploitは、世界で最も利用されている「ペネトレーション・テストソフトウェア」です。また、nexposeエンタープライズは、脆弱性マネジメントソリューションです。強力に統合された2つのソリューションの間では、シンプルなワークフローだけでなく効果的なリスク優先順位付けし、実際の脅威に弱い所を特定し修正までの記録を自動化して時間とコスト削減をサポートします。



動作の仕組み

- 他のソリューションとは違い、マニュアルのXMLのエクスポート/インポートを要求し、脆弱性をスキャンした結果は、サポートされているAPIにより、nexposeからmetasploitに引き出されます。
- metasploitのシンプルな脆弱性確認ウィザード機能は、社内ネットワーク上で安全な擬似アタックを処理を実行し、ネットワーク上のどの部分の脆弱性箇所があるか、悪意のある行為のために書かれたスクリプト、ソフトウェアが存在するかを判定します。
- 結果は自動的に脆弱性の今後の方針策定資料とレポートをnexposeに送ります。
- nexposeを使い、資産を簡単にグループ化し、脆弱性を優先的に処置しなくてはならないものと、そうでないものに分類します。



特徴

- 効率の向上**
実際のリスクの優先順位付けにより、セキュリティ・アセスメントにおける手間を削減し、迅速かつ効果的に措置を講じられるよう支援します。
- クリティカルなリスクを減らす**
脆弱性でも優先順位の高く悪意ある行為のために書かれたスクリプトやプログラムと受容可能なリスクとに切り分けます。
- 社内ネットワークの安全性をテスト**
実際のネットワークの世界で、アタッカーが行う方法と同じ手段で、社内ネットワークを確認できます。
- 信ぴょう性の増加**
関係者に、簡潔かつ信頼でき、測定可能な修復レポートを提供します。

お客様の声

「私たちは、優先順位がつけられ、対策がとれるような脆弱性を確認できるものを求めています。8ヶ月間 nexpose Enterpriseと metasploit Proを使用した後、前年と比べ98%以上の脅威リスクを減らすことができました。」

スコット アーヴェン
情報セキュリティマネージャ
エッセンティアヘルス

Rapid 7 について

Rapid7のITセキュリティソリューションは、可視化や洞察することで、情報による意思決定、確かなアクションプランやモニターの向上をサポートします。それらはリスクマネジメントをコンテキスト脅威診断で、素早くかつ包括的なデータを、社内のユーザ、資産、サービスや構内、モバイル、クラウドベースのネットワークにより収集して、1つに統合することによりシンプルにします。

Rapid7のシンプルで革新的なソリューションは、65以上の国の2,500以上の企業や政府機関で使用されています。同社の無償の製品は年間100万回以上ダウンロードされ、200,000人を超えるオープンソースセキュリティのメンバーに利用されています。

Rapid7は、Inc.Magazineから、最も早く成長しているセキュリティ会社の1つと認識されています。また、Boston Globeでは「Top Place to Work」に認定され、GartnerやSC Magazineでは、トップレポートを記しています。

